

金利とマネーサプライの関係について及び  
売りと買いについて

売りオペレーション(マネーサプライを引き揚げ)と買いオペレーション(マネーサプライを投入)以外には、公定歩合の金利でマネーサプライをコントロールしている。売りと買いはすべての経済主体で同じ効果があるので中央銀行が行なっても効果があるのである。

売り(サプライサイド:供給曲線)は景気の引き締め策で、買い(ディマンドサイド:需要曲線)は景気の緩和策である。供給曲線は売りたい人が増えると値段が下がるので右肩下がりである。需要曲線は買いたい人が増えると値段が上がるので右肩上がりである。供給曲線と需要曲線の交差する点で一つの財やサービスの価格が決まるのである。

2021年10月28日(木)

英文法令社  
佐藤 賢一